

ワケ カタチには理由がある(61)

Shape follows Function
& Taste

～チャンスポート F6Uパイロット



【チャンスポート社
の次作 XF7U と→】



本機は、名機 F4U コルセアを送り出したチャンスポート社が初めて作ったジェット機です。1949年に初飛行しています。しかし、アンダーパワーで期待通りの性能を発揮できなかったため、量産機は30機に留まりました。本連載第7回の F4U-5N の際にも言及しましたが、とにかく F4U の主翼後方に配置したコクピット配置は艦上機としては欠点だったようで、チャンスポート社は XF5U 以降、コクピットを極端に機体前方に配置します。この機体も例外ではなく、主翼前方に長く伸びた機首先端にコクピットを置いており、まるで雁が首を伸ばして飛ぶ姿を連想させるデザインでした。翼端の増槽配置は翼端の渦抵抗を低減させるための配置で、当時、最新の知見に基づく外形でもありました。

【模型について】

チェコのアドミラル(Admiral)社の 1/72 簡易インジェクションキットです。AZ モデルと関係があったようですが、チェコ他社キットに比べると品質はちょっと落ちて、組み上げるのが大変だった記憶があります。翼端の増槽の有無で機体の印象が変わるので、これを差し込み式にして、着脱自在にしています。(中川裕幸 2022年4月)